

---

## 令和5年度 第1回 人生の最終段階における医療・ケア検討会議

---

日時:令和5年10月20日(金) 18:45~20:30

場所:高知県庁2階 第二応接室

### 次 第

1 開会

2 議題

- (1) 令和5年度重点の取り組みについて
  - ・上半期(資料1)
  - ・下半期(資料2)
- (2) 令和5年度その他の取り組みについて
  - ・事業一覧(資料3)

3 閉会



高知県在宅療養推進課

## 人生の最終段階における医療・ケア検討会議設置要綱

### (目的)

第1条 県民一人ひとりが最期まで自分らしく尊厳をもって生きられるよう、人生の最終段階において提供される医療及びケアについて検討するため「人生の最終段階における医療・ケア検討会議」(以下「会議」という。)を設置する。

### (協議事項)

第2条 この会議は、前条の目的を達成するため、次の事項について協議する。

- (1)人生の最終段階において提供される医療及びケアのあり方に関する事。
- (2)ACP(アドバンス・ケア・プランニング)による意思決定の体制整備に関する事。
- (3)ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及啓発に関する事。
- (4)その他、目的を達成するために必要な事項。

### (組織)

第3条 会議の委員は、人生の最終段階における医療・ケアに携わる医療関係者・介護関係者、学識経験者、関係団体及び住民の代表者等で構成する。

- 2 会議に座長を置き、委員の互選により選出する。
- 3 委員が会議に出席できない場合、代理出席を認める。

### (会議)

第4条 この会議は、座長が必要に応じて招集し、座長が議長となる。

- 2 議事は、公開とする。

### (事務局)

第5条 検討会議の事務局は、高知県健康政策部在宅療養推進課に置く。

### (その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、会議の組織及び運営に関し必要な事項は、座長が委員に諮って定める。

### 附 則

この要綱は、令和元年6月10日から施行する。

この要綱は、令和3年6月9日から施行する。

人生の最終段階における医療・ケア検討会議 委員名簿

氏名	所属・役職名	備考
阿部 恭宜	公益社団法人高知県薬剤師会 常務理事	
伊与木 増喜	一般社団法人高知県医師会 常任理事	
岩崎 美幸	公益社団法人高知県看護協会 看護師職能理事	
大庭 憲史	高知県介護支援専門員連絡協議会 理事	
北岡 智子	国立大学法人高知大学 講師	
北村 龍彦	一般財団法人日本尊厳死協会四国支部・高知 代表	座長
公文 理賀	一般社団法人高知県社会福祉士会	
長瀬 美和	一般住民代表 (高知県連合婦人会 副会長)	
中本 雅彦	高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長	
福田 晃代	高知県老人福祉施設協議会 副会長	
堀 洋子	一般住民代表 (高知県医療審議会保健医療計画評価推進部会委員)	
松本 務	あおぞら診療所高知潮江 所長	
森下 幸子	高知県公立大学法人高知県立大学 准教授	
安岡 しずか	公益社団法人高知県訪問看護連絡協議会 会長	
依岡 弘明	一般社団法人高知県歯科医師会 副会長	

※敬称略、五十音順

## 人生会議(ACP) 令和5年度重点取組

### 1. 相談員の活用

講師等リストの作成

### 2. 市町村での啓発活動への支援

ACP 市町村担当者等の情報交換会の開催

上半期(資料1)

### 3. 子世代(40、50代)に向けた普及啓発

企業内研修の実施

企業との共同セミナーの開催

下半期(資料2)

### 4. 無関心期をターゲットにした広報

無関心期に向けた2種類の新リーフレットの作成

# 令和5年度 上半期実績



進捗管理	・ 検討会議開催なし
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談員研修、指導者研修受講者アンケート調査⇒講師等リスト作成</li> <li>・ 市町村等情報交換会（1回）</li> <li>・ 在宅医療連携研修（1回）</li> <li>・ あったかふれあいセンターコーディネーター研修（1回）</li> <li>・ 相談員研修（国）（2回）</li> </ul>
実態把握	・ 市町村アンケート調査（1回）
県民啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前講座（4回）</li> <li>・ 高知新聞広告（1回）</li> <li>・ 啓発ポスター・リーフレット（随時）</li> </ul>

月	4	5	6	7	8	9
進捗管理						
人材育成		相談員研修、指導者研修受講者アンケート調査	→	講師等リスト作成	市町村等情報交換会 8/28	あったかコーディネーター研修 9/12
		在宅医療連携研修 5/31				(国) 相談員研修
実態把握		市町村アンケート実施	↗			
県民啓発	出前講座 4/12		出前講座 6/12, 25	空き家セミナーで啓発資材の配布		出前講座 9/29
	啓発資材配布 (随時)					高知新聞広告

# 人生会議（ACP） 令和5年度重点取組

## 【上半期】

### 1. 相談員の活用

#### 講師等リストの作成

目的：厚生労働省主催の「患者の意向を尊重した意思決定のための研修会」受講者を今後の県の啓発活動への活用を図る

対象：研修会受講者

方法：令和5年5月下旬～6月中旬にかけて、研修会受講者に対し、講師またはファシリテーターとして協力可能かどうかアンケート調査を実施

※ファシリテーターとは、グループワークの際に参加者に発言を促したり話の流れをまとめる等、会議等を円滑に進行する人のこと。令和6年度の市町村担当社等情報交換会や医療従事者向けの研修等での活用を検討中。

結果：配布数 207 名、回答数 130 名（回答率 62.8%） うち **50名**が協力可能と回答協力可能な方をリスト化し、地域での講座を依頼

#### 【協力可能な方の内訳】 合計 50 名

職種	講師・ ファシリテーター	講師のみ	ファシリテーター のみ
医師	9名	1名	8名
看護師	10名	0名	17名
社会福祉士	0名	0名	3名
作業療法士	0名	0名	1名
薬剤師	0名	0名	1名
計	19名	1名	30名

#### 【今後の活用予定】

公開講座	11月3日（金・祝） 高知市 11月23日（木・祝） 四万十市 高知医療センター がんセンター緩和ケアセンター長 医師 光岡 妙子氏
医療従事者 レベルアップ事業	12月20日（水）室戸市 高知医療センター看護師 明神 友紀氏
県政出前講座	1月19日（金）いの町 高知医療センター看護師 明神 友紀氏

## 2. 市町村での啓発活動への支援

### ACP 市町村担当者等の情報交換会の開催

目的：市町村担当者から、「人生会議について、住民への伝え方やどのように実践につなげるか、方法が分からない」という課題が聞かれ、先進的な取り組み事例などを共有し、市町村活動を支援する。

対象：市町村担当者、地域包括支援センター職員、市町村社会福祉協議会、あつたかふれあいセンター職員等

内容：8月28日（月）13：30～15：30 ちより街テラス 会議室1・2

- ・人生会議の講義（講師 高知県立大学看護学部 森下幸子氏）
- ・市町村の取組紹介（安芸市、仁淀川町）
- ・グループワーク「人生会議（ACP）の啓発について」

成果：参加者31名

（市町村担当者4名、地域包括支援センター職員25名、市町村社会福祉協議会職員1名、あつたかふれあいセンター職員1名）

#### 【グループワークでの意見】

##### 1. 啓発する側の理解不足

課題	・事業の進め方自体がわからない
原因	・自分たちの理解度が十分でなく、具体的に話し合いができていない ・担当課との連携が不足している ・一緒に取り組むチームや資料がない
対策	・事例検討会や研修会に参加して支援者側の理解を深める ・どんな対象に何を伝えるか整理していく



令和6年度も引き続き市町村担当者等情報交換会を開催し、啓発する側となる職員の理解と伝達スキルの向上を図る

## 2. 医療機関との連携

課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・啓発する側の専門職の理解が十分でない</li><li>・医療機関との連携が不足している</li></ul>
原因	<ul style="list-style-type: none"><li>・医療機関は意識が高いところとそうでないところの差があり、連携がうまくいかない</li></ul>
対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・医療機関と連携できるようドクター同士、病院同士のネットワークの構築が必要</li></ul>



令和6年度に医療従事者向けの研修会を開催し、医療従事者への普及啓発を図る

## 3. 住民の関心が低い

課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・住民への ACP の普及が進んでおらず、話合いができていない</li><li>・子世代への啓発ができていない</li></ul>
原因	<ul style="list-style-type: none"><li>・共有しやすいツールがないため啓発が十分できていない</li><li>・ACP についての理解が不十分</li></ul>
対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・住民の集まる場で、相続など興味を引くテーマとともに啓発をする</li><li>・医療の現状やもしばなゲームを利用するなど、将来のことが想定できるように工夫しながら啓発をする</li><li>・いき百などで高齢者の方などへの意識調査から始め、地域性や反応をみて普及啓発に取り組む</li></ul>



令和5年度下半期に無関心期に向けた2種類の新リーフレットを作成し、幅広いターゲットへ普及啓発を行う



## 令和5年度 下半期予定



進捗管理	・ 検討会議（2回）
人材育成	・ 指導者研修（国）（2回）（仮） ・ 相談員研修（国）（6回） ・ 医療従事者レベルアップ事業（3回）
実態把握	
県民啓発	・ <b>企業内研修、企業との共同セミナー</b> ・ <b>無関心期をターゲットにした広報（新しいリーフレットの作成、配布）</b> ・ 公開講座（2回） ・ 出前講座（2回） ・ テレビ・ラジオ読み上げ等（1回） ・ 啓発ポスター・リーフレット（随時）

月	10	11	12	1	2	3
進捗管理	第1回 検討 会議 10/20				第2回 検討 会議	
人材 育成	(国) 指導者 研修（仮）				市町村等情 報交換会 参加者に対す る実施状況 確認調査	
	(国) 相談員 研修					
	レベル アップ 事業 10/28		レベル アップ 事業 12/19, 20			
実態 把握						
県民 啓発	出前 講座 10/29	公開講座 11/3, 23		出前 講座 1/19		
	テレビ・ ラジオ 読み上げ		<b>企業内研修、企業との共同セミナー</b>			
	啓発資材 配布 （随時）		<b>無関心期をターゲットにした広報 （新しいリーフレットの作成、配布）</b>			

# 人生会議（ACP） 令和5年度重点取組

## 【下半期】

### 3. 子世代（40、50代）に向けた普及啓発

#### 企業内研修の実施

目的：県と包括連携協定を締結している企業（別紙参照）の社員を対象とした研修を実施し、子世代（40、50代）への普及啓発を図る。

対象：包括連携協定締結企業の社員

方法：人生会議についての企業内研修を実施

予定：10月 包括連携協定締結企業へアンケート調査を実施（8社）

12月～2月 企業内研修実施

#### 企業との共同セミナーの開催

目的：県と包括連携協定を締結している企業と共同セミナーを開催し、子世代（40、50代）への普及啓発を図る。

対象：一般県民

方法：人生会議についての共同セミナーを実施

予定：10月 包括連携協定企業との調整（1社予定）

12月～2月 共同セミナー実施

### 4. 幅広いターゲットへの普及啓発

#### 無関心期に向けた2種類の新リーフレット作成

背景：①昨年度人生の最終段階における医療・ケア検討会議委員より、「住民にとって、人生会議が何か意味がわからない」や、「将来に向けての準備をすることは高齢者にとってある意味責務のようなどころがある」との意見

②市町村より、「住民と共有しやすいツールがないため啓発ができていない」という意見

こうした意見を踏まえ、「今後のことを考えるきっかけ」としてもらうために元気編と退院編の2種類の新リーフレットを作成し、無関心層への啓発を行う。

予定：10月～1月 内容検討

2月頃～ 印刷・配布

## (参考) 啓発素材の検討について

課題：1. 県民の人生会議の認知度が低い

知っている：13.3%（令和3年度県民世論調査）

2. 人生の最終段階について考えることは日常的なことではなく、縁起でもない  
と避けられる傾向にあり、話題にしたがらないし家族からも話題にしづらい

3. 現在発行している「人生会議」してみませんか？初級編のリーフレットは関  
心期の方にはツールとして有効だが、無関心期の方には渡ただけで終わっ  
てしまい、関心期に移行しない

対策：「人生会議」を前面に出しすぎず、高齢者の興味関心の高いキーワード※と併記  
することで、将来のことを考えるきっかけとなるようなリーフレットを、①元  
気編、②退院編の2種類作成する

※「健康づくり」、「住まい」、「お金」など（内閣府「令和3年度高齢者の日  
常生活・地域社会への参加に関する調査結果」より）

対象：①元気編…元気な高齢者

②退院編…退院患者

内容：①元気編

- ・ 人生をより楽しむ
- ・ 健康に気をつける（運動、食事、健康診断）
- ・ 将来に備えて準備を始める（自宅、お墓、お金の管理など）
- ・ 最期のことも考え始める
- ・ 未来への心づもりの記入

②退院編




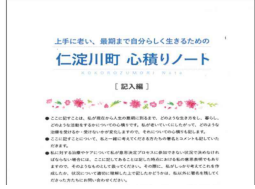
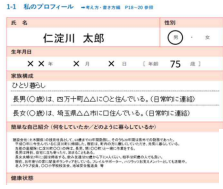
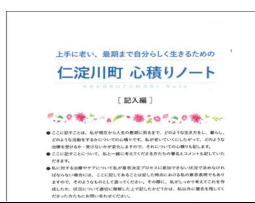
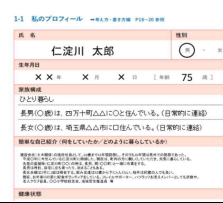
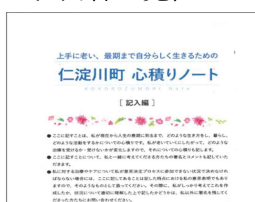
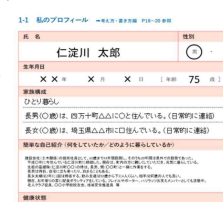
- ・ 人生をより楽しむ
- ・ 退院をきっかけにこれからを考える
- ・ 体調管理により気をつける
- ・ 将来に備えて準備を始める（自宅、お墓、お金の管理など）
- ・ 最期のことも考え始める
- ・ 未来への心づもりの記入

※別紙 リーフレット案

渡すタイミング：①元気編…市町村の ACP 啓発での配布、あったかふれあいセンター、  
葬儀社などを訪れたとき、高齢者手帳を渡すとき など

②退院編…退院時に地域連携室の看護師から渡す など

# 行動変容ステージ別の人生会議普及手法

	元気な高齢者	退院患者
無関心期	<p><b>①元気編</b></p> <p>将来のことを考えるきっかけに</p> 	<p><b>②退院編</b></p> <p>将来のことを考えるきっかけに</p> 
関心期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座、研修会への参加</li> <li>・「人生会議」してみませんか？初級編のリーフレットへ記入</li> </ul> 	
準備期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的なセミナーへの参加、エンディングノート活用紹介</li> <li>・終末期医療に関する意思確認書の紹介</li> </ul>   <p>(例：仁淀川町)</p>	
実行期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンディングノート、こころづもりノート等を記入した上での話し合い</li> <li>・意思確認書を記入した上での話し合い</li> </ul>   <p>(例：仁淀川町)</p>	
維持期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンディングノート、こころづもりノート等に記入した上で身近な人や医療関係者と話し合いを繰り返し行い、内容の見直しを行う</li> <li>・意思確認書を活用して、身近な人や医療関係者と話し合いを繰り返し行い、内容の見直しを行う</li> </ul>   <p>(例：仁淀川町)</p>	

# 最期のことも 考え始める

誰もが命に関わる大きな  
病気やケガをする可能性  
があります。



命の危険が迫った状態になると、医  
療や介護のことで**自分の希望**を伝

えることが難しくなり  
ます。



あなたは**もしもの時**、どういった医療  
や介護を望みますか？

前もって、信頼できる周囲の人たちと  
話し合い、伝えておくことが重要です。

病院

自宅



あなたの**未来への心づもり**を  
自由に書き出してみよう



楽  
つむこと

これからも楽しく続けられることを書いて  
みましょう。

備  
えること

これからの体調管理や将来への備えを  
書いてみましょう。

最  
期のこと

あなたが望む最期の時の治療方針や  
療養場所について書いてみましょう。

<発行>

高知県健康政策部在宅療養推進課

〒780-8570高知市丸の内1-2-20

TEL:088-823-9104

mail:131401@ken.pref.kochi.lg.jp



自分らしい豊かな人生とともに

## サンプル (元気編)



10年後・20年後までをどう生きるか

## 未来への心づもり のすすめ

人生100年時代



これからをどう生き

どう終えるか

高知県健康政策部在宅療養推進課

自分らしい豊かな  
人生のために  
今から考えておく

# 未来への心づもり！

人生～♪  
楽ばかり～♪



## 人生をより楽しむ

まだまだ叶う豊かな人生  
例えば、

- ・新しいことに挑戦する
- ・趣味を楽しむ
- ・仕事を頑張る
- ・社会貢献に取り組む



など、達成感や充実感を感じながら  
これからの人生を楽しみましょう！

体力や気力を維持するため、  
日頃から適度な運動の実践  
や健康的な食事をとることな  
どを心がけましょう。



## 健康に気をつける 取り組む

健康診断を欠かさず受診することや  
精密検査が必要になった場合は、  
速やかに医療機関を  
受診しましょう。  
体調管理には、  
家庭での**血圧測定**  
も有効な手段です。



治療中の方は、医療機関  
への受診や服薬が不規則  
にならないよう心がけましょう。



## 将来に備えて 準備を始める

自分の周りのいろいろなものを  
引き継ぐ準備も始めましょう。  
まだ、準備には早いような気が  
するかもしれませんが、元気な  
うちだからこそ進んで整理に取り  
かかりましょう。



まずは、身の回りの整理から。  
例えば手紙や写真などの大事  
な思い出の品や、使っていない  
銀行口座など。

**ご自身を振り返る**きっかけにも  
なります。

誰もが命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。



命の危険が迫った状態になると、医療や介護のことで**自分の希望**を伝えることが難しくなります。  
あなたは**もしもの時**、どういった医療や介護を望みますか？



病院

自宅



# 最期の時のことも 考え始める

前もって、信頼できる周囲の人たちと病状が悪化した時に**あなたが望む**医療や介護について話し合い、伝えておくことが重要です。



あなたの**未来への心づもり**を  
自由に書き出してみよう



楽  
し  
む  
こ  
と

これからも楽しく続けられることを書いてみましょう。

備  
え  
る  
こ  
と

これからの体調管理や将来への備えを書いてみましょう。

最  
期  
の  
こ  
と

あなたが望む最期の時の治療方針や療養場所について書いてみましょう。

<発行>

高知県健康政策部在宅療養推進課  
〒780-8570高知市丸の内1-2-20  
TEL:088-823-9104  
mail:131401@ken.pref.kochi.lg.jp



# サンプル (退院編)



自分らしい豊かな人生とともに

# 未来への心づもりの すすめ

病気と向き合いながら

これからをどう生き

どう終わるか

高知県健康政策部在宅療養推進課

病気と向き合いながら  
今から考えておく

# 未来への心づもり！

自分らしい豊かな人生であるために、  
今回の退院をきっかけに、未来への  
心づもりを考えてみませんか。

# 退院をきっかけに これからを考える



この機会に、これからを“どう生きたいか”  
考えてみましょう。



# 将来に備えて 準備を始める

自分の周りのいろいろなものを  
引き継ぐ準備も始めましょう。  
まだ、準備には早いような気が  
するかもしれませんが、今だから  
こそ自分が出来る整理に取りか  
かりましょう。



まずは、身の回りの整理から。  
例えば手紙や写真などの大事  
な思い出の品や、使っていない  
銀行口座など。

**ご自身を振り返る**きっかけにも  
なります。

# 人生をより楽しむ

退院したら、してみたかったこと

例えば、

- ・新しいことに挑戦する
- ・趣味を楽しむ
- ・仕事を頑張る
- ・大切な人との時間を大事にする



など、達成感や充実感を感じながら  
これからの人生を楽しみましょう！

# 体調管理に より気をつける

治療の継続が必要な方は、  
医療機関への受診や服薬  
が不規則にならないよう心  
がけましょう。





## 令和 5 年度 事業一覧

**(1) 人生の最終段階における医療・ケア検討会議**

第1回：令和5年10月20日（金）18:45～20:10 県庁本庁舎 第二応接室  
 第2回：令和6年2月（予定）

**(2) 人材育成****①指導者研修（※厚生労働省主催）**

開催日等確認中

**②相談員研修（※厚生労働省主催）（オンライン）**

（多職種チーム）

1回目：9月3日（日）            2回目：9月24日（日）  
 3回目：10月15日（日）        4回目：10月29日（日）

（個人）

1回目：10月22日（日）        2回目：11月5日（日）  
 3回目：12月3日（日）        4回目：12月10日（日）

**③医療従事者レベルアップ事業（県事業として各種団体に対して講師を派遣）**

対象：医療従事者

日程・開催地	主催者	テーマ・講師	人数
10月28日(土)	幡多ソーシャル ワーカー協議会	「人生会議におけるソーシャルワーカーの役割」 高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中本 雅彦氏	約 20 名 予定
12月19日(火)	香美市高齢介護課	「在宅医療でのがん患者の看取り、緩和 ケアについて（仮）」 医療法人 OWL みなみ在宅クリニック 院長 南 大揮氏	約 50 名 予定
12月20日(水)	室戸市地域包括 支援センター	「人生会議とは、意思決定支援とは」 高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター 看護師 明神 友紀氏	約 25 名 予定

#### ④在宅医療連携研修事業（県事業として医療機関に対して講師を派遣）

対象：高知県地域医療連携ネットワーク会会員

日程・開催地	主催者	テーマ・講師	人数
5月31日（水）	高知厚生病院	「ACP：人生会議って 生き方会議 ～最期まで自分らしさを大切にする 会議～in 高知厚生病院」 高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中本 雅彦氏	60名

#### ⑤あったかふれあいセンターコーディネーター研修

対象：あったかふれあいセンターコーディネーター※

※あったかふれあいセンター事業において、関係機関のネットワークの構築、  
地域での支え合いの仕組みづくりを推進するために必要な職員

在宅療養推進課からACPについて説明し、あったかふれあいセンターの利用者  
に対するACP普及啓発の協力を依頼した。

日程	主催者	テーマ・発表者	人数
9月12日（火） （オンライン）	高知県 （企画・運営 高知県 社会福祉協議会）	「人生会議（アドバンスケアプラン ニング）について」 在宅療養推進課（小笠原）	37名

### （3）県民啓発

#### ①公開講座

対象：一般住民

日程・開催地	11月3日（金・祝） 高知市 11月23日（木・祝） 四万十市
主催者	高知県（在宅療養推進課）
演題・講師	「ご存じですか？人生会議」 高知医療センター がんセンター緩和ケアセンター長 医師 光岡 妙子氏
内容	ACPの基本的な考え方、実際の事例など （市から取り組みの紹介（高知市、四万十市））

## ②ACP フォーラム（県中央西福祉保健所主催）

対象：一般住民

日程・開催地	11月10日（金） 佐川町
主催者	県中央西福祉保健所
（1）基調講演	
演題・講師	「人生会議って知っちゃう？～よりよく生きるために話合おう～」 亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科医長 蔵本 浩一 氏
内容	もしばなゲームを通して人生会議の体験、人生会議に携わっている医療関係者等によるパネルディスカッション

## ③県政出前講座

対象：一般住民

地域の団体が主催する研修に県から講師を派遣した。

	日程・開催地	主催者	講師	人数
1	4月12日（水） （高知市）	特定非営利活動法人 明日への絆	特別養護老人ホーム あざみの里 看護師 松木 裕子氏	13名
2	6月12日（月） （四万十市）	百笑地区健康福祉委員会	特別養護老人ホーム あざみの里 看護師 松木 裕子氏	16名
3	6月25日（日） （須崎市）	グループホーム ぬっく須崎家族会	一般社団法人 高知県社会福祉士会 公文 理賀氏	15名
4	9月29日（金） （土佐市）	土佐市老人クラブ連合会	高知県医療 ソーシャルワーカー協会 会長 中本 雅彦氏	50名
5	10月29日（日） （香美市）	香美郡民主商工会	一般社団法人 高知県社会福祉士会 公文 理賀氏	30人 予定
6	1月19日（金） （いの町）	いの町地域包括 支援センター	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター 看護師 明神 友紀氏	30人 予定

④人生会議 啓発資材配布（R5.9月時点）

資材	配布先	部数
リーフレット	市町村等	6,405 部
ポスター	市町村等	132 部

⑤在宅療養推進課のホームページでの紹介

- ・安芸市の取り組みを紹介



- ・厚生労働省の人生会議普及啓発動画のリンクを掲載



11月開催

高知県 公開講座

参加費 無料

## 「ご存じですか？人生会議」

県では、最期まで住み慣れた地域で自分らしい生活が続けることができるよう、「人生会議」を推進しています。

公開講座では、県内で緩和ケアに深く関わっている医師の方から「人生会議」の基本的な考え方や実際の事例を交えてお話いただきます。

この機会にご自身が望む医療・ケアについて考えてみませんか？

「人生会議」\*とは、もしものときのために、あなたが大切にしていることや、どのような医療やケアを望んでいるか、前もって考え、信頼する人たち(家族や医療関係者等)と話し合うことです。

\*ACP(アドバンス・ケア・プランニングと表す場合もあります)



### 開催地・日程

県内2会場	日 程	会 場
高 知 市 定員120名	令和5年 11月3日 (金・祝)	高知市立自由民権記念館 民権ホール(高知市棧橋通4-14-3)
四万十市 定員70名	令和5年 11月23日 (木・祝)	四万十市立文化センター 大会議室(四万十市中村桜町2-1)

### 時 間

いずれの会場も 14:30~16:00 (14:00~受付)

### 講 師

高知医療センター がんセンター緩和ケアセンター長  
医師 光岡 妙子 氏

### 申込み

事前に裏面の参加申込書をご提出ください(FAX・メール)  
電話でも申込みできます。 TEL:088-823-9104

主催:高知県

共催:高知市(高知市会場) 四万十市(四万十市会場)

【問い合わせ先】 高知県 在宅療養推進課 TEL 088-823-9104

【提出先】 高知県 在宅療養推進課 宛て

FAX : 088-823-9137

メール : 131401@ken.pref.kochi.lg.jp

受付×切 : 高知市会場 10/27(金)・四万十市会場 11/16(木)

11月開催

## 公開講座 参加申込書

### 【参加希望者】

2名分申込みできます		1人目	2人目
開催地 (いずれかに○)		高知市・四万十市	高知市・四万十市
ふりがな			
氏名			
お住まいの市町村名			
連絡先 (いずれか 1つ)	TEL		
	FAX		
	メールアドレス		

### 【ご注意】

- ・駐車場の台数に限りがありますので、なるべく公共交通をご利用ください。
- ・定員に達し次第受付を終了いたします。
- ・お申し込みいただいた個人情報は、適切な方法で管理し、今回の公開講座に使用する以外の目的での使用並びに第三者への提供及び開示は行いません。

### 【お問い合わせ先】

高知県健康政策部在宅療養推進課

担当 : 小笠原、苫谷

TEL : 088-823-9104 FAX : 088-823-9137

メール : 131401@ken.pref.kochi.lg.jp

在宅療養推進課

ホームページは  
こちら



# 人生会議

## って知っちゃう？

～よりよく生きるために話し合おう～

2023年

11月10日(金)

13:30～16:30

みんなで知ろう！  
人生会議



自分自身が大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて前もって考え、信頼する人たちと話し合うことを人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）といいます。このフォーラムをきっかけにあなたも信頼する人と人生会議してみませんか？

**会場** 佐川町立桜座 ホール

**対象** 住民、民生委員・児童委員、市町村職員、  
あったかふれあいセンター職員、医療・介護関係職員

**予約が必要です**

ご家族やご友人も  
ぜひお誘いください

### フォーラム詳細

#### 「人生会議ってな～に？」

亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科医長 蔵本 浩一 氏

人生の最後にどう生きたいか考える。大切なことだと分かっているけど、なんとなく「縁起でもないから」と避けていませんか？もしバナゲームというカードゲームを通して楽しく人生会議を体験してみましょう。



#### 「人生会議をやってみて」

Aさんの人生会議に携わった、主治医、看護師、ケアマネ、Aさんのご家族。それぞれの立場の方が様々な支援を行う中で感じたことや気づいたことについてパネルディスカッションをします。当事者のリアルな思いに耳を傾けてみませんか。



申し込みはこちら

**主催** 高知県中央西福祉保健所 地域支援室

TEL 0889-22-1241 FAX 0889-22-9031

**共催** 土佐市在宅医療介護支援センター